

■ ■ 授業科目名	■ ■ 科目区分	■ ■ 時間割	■ ■ 対象年次及び学科
心理学C Psychology C	学問基礎科目	前期 金2	1～ 全学共通科目
■ ■ 講義題目	■ ■ 水準・分野	■ ■ DP・提供部局	■ ■ 対象学生・ 特定プログラムとの対応
子どもの発達心理学・感覚と知覚の心理学 Psychology of Child Development, Sensation and Perception	B2PSY	bcdG	10
■ ■ 担当教員	■ ■ 授業形態	■ ■ 単位数	■ ■ 時間割コード
松本 博雄, 佐藤 敬子[MATSUMOTO Hiroh, Sato Keiko]	Lx	2	010501

■ ■ DP・提供部局

bcdG

■ ■ 授業形態

Lx

■ ■ 関連授業科目

■ ■ 履修推奨科目

■ ■ 学習時間

講義90分 × 15回 + 自学自習(準備学習 30時間 + 事後学習 30時間)

■ ■ 授業の概要

前半は主に乳幼児から児童期を中心に、発達心理学および隣接諸領域の学問的知見を学ぶ。発達心理学の入門編として、発達の視点をを用いて子どもとそれを取り巻く私たちの社会における諸問題を科学的に捉え、考える構えを身につけることがねらいである。
後半は感覚と知覚の心理学について学ぶ。自分が見ている世界は他人と同じだろうか？この問いに対して、人間の認識や行動の基盤である感覚と知覚の基礎について論じ、そのための科学的な試みについて紹介する。

■ ■ 授業の目的

前半：ひとりの市民(学生・一般社会人・専門職・保護者いずれも含む)として子どもと向き合うにあたり、子ども固有の世界をふまえて考え、適切に行動するうえで必要な発達心理学的視点を理解し、活用できるようになることが目的である。
後半：様々な感覚知覚に関わる現象を実際に体験することで人間の知覚理論を理解するとともに、論理的で科学的な思考方法についての理解を深める。

■ ■ 到達目標

- 前半：
1. 乳幼児・児童のふるまいを発達の視点から説明できる。(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)
 2. 1. をふまえて「子ども」について論じることができる。(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)
 3. 思い込みや個人的な信念を越えて、子どもと関わり、その生活を支えるうえでの手がかりを身につけ、活用できる。(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」「市民としての責任感と倫理観」に対応)
- 後半：
1. 人間の感覚と知覚の基礎的な理論について理解し、説明できる。(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)
 2. 外界(光や音など)と私たちが見聞きしている主観的世界は同じではないことを理解し、具体例を用いて説明できる。(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)

■ ■ 成績評価の方法

前半：中間試験(第8回)50%(第7回までに3回以上欠席がある場合、中間試験の受験を認めない)
後半：期末試験(第16回)50%
上記を合計した得点により評価する。

■ ■ 成績評価の基準

■ ■ 授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】

前半(子どもの発達心理学)

1. はじめに:子どもの魅力と面白さ
2. 保育・子育ての今と発達心理学
3. 子どもの世界を探る:乳児期①
4. 子どもの世界を探る:乳児期②
5. 子どもの世界を探る:乳児期から幼児期へ
6. 子どもの世界を探る:幼児期から児童期へ
7. まとめ:子どもの世界を理解し向き合うために
8. 中間試験

後半(感覚と知覚の心理学)

9. オリエンテーション:脳を知ろう
10. 視覚(1):ものを見るシステム
11. 視覚(2):見えの大きな不思議, 注意:注意を向けるとは
12. 聴覚(1):音を聴くシステム
13. 聴覚(2):聴こえの大きな不思議
14. 感覚間相互作用:感覚どうしの関係
15. 心理物理実験:感覚や知覚はどうやってはかる?
16. 期末試験

【自学自習に関するアドバイス】

前半:知識を身につけるだけでなく、それをを用いて考えるというねらいに基づき、授業時に随時コメントペーパーを課す。コメントペーパーの内容は次週にフィードバックされるので、受け身的ではなく、ともに魅力ある授業をつくろうとする姿勢が求められる。事前に教科書の該当部分を指示するので、眼を通してることが必須の課題である。

後半:授業中に参考文献を紹介する。各自が関心を持った内容について文献を読み、理解を深めることが望ましい。

教科書・参考書等

前半:松本博雄・常田美穂・川田学・赤木和重(2012)『0123発達と保育:年齢から読み解く子どもの世界』ミネルヴァ書房 2200円【生協にて購入】

後半:教科書は使用しない。授業時に適宜資料を配布する。授業中に参考書等を紹介する。

オフィスアワー

前半:金曜日1時限目(幸町キャンパス 8号館5F松本博雄研究室)

後半:水曜日5時限目(林町キャンパス)

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

2019年度までに心理学Fを受講した方については、内容が一部重なるため、本年度の心理学Fを受講しても単位が出ません。ご注意ください。

参照ホームページ

前半:<https://sites.google.com/site/kagawachild/>

後半:講義内で周知します。

メールアドレス

前半:hirowo@ed.kagawa-u.ac.jp

後半:satokei@eng.kagawa-u.ac.jp

教員の実務経験との関連

前半:保育所・幼稚園等を中心に、保育者と協同しての保育実践検討会等の助言者・指導者として20年程度関わってきた経験をもとに、実践場面での乳幼児発達をふまえて講義を行います。